

追加型投信 / 内外 / 株式

ファンド情報提供資料
データ基準日: 2019年3月29日

未来イノベーション成長株ファンド

投資テーマにおける関連トピックと運用状況について

平素より、「未来イノベーション成長株ファンド」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

本レポートでは、当ファンドの投資テーマにおける関連トピックのご紹介、および運用状況をご報告いたします。

今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

Innovation
ファンドマネジャー
が語る!

投資テーマ

新素材における関連トピック

様々な用途で活躍が期待される炭素繊維

運用主担当者
内田 浩二

炭素繊維とは、文字通り「炭素からなる繊維」のことです。炭素繊維の最大の特長は「軽くて強い」点であり、重さは鉄の約4分の1、強度は鉄の約10倍もあります。他にも耐久性、電気や熱の伝導性なども優れており、先端素材として近年注目されています。

炭素繊維は、プラスチックなどと組み合わせた炭素繊維複合材料(CFRP)として利用するのが一般的です。例えば、ゴルフクラブなどの身近なスポーツ用品から、人工衛星などの宇宙分野まで、さまざまな用途で利用されています。

世界における炭素繊維の生産のうち、約4割を占めるとされる業界最大手「東レ」は、約50年前から炭素繊維の安定生産技術を磨いてきました。現在では、軽量化が要求されるエアバス等の航空機の機体に多く利用されており、燃費向上に貢献しています。

今後は、自動車分野における需要の拡大を期待しています。各国の自動車メーカーは、排ガス規制や電気自動車(EV)の生産に向け、車体の軽量化を急いでいます。これまでの用途は高級車に限られていましたが、生産台数が多い普通車への利用が進むことで、炭素繊維の更なる拡がりに期待しています。

当ファンドでは、新素材で新たな分野を開拓していく企業に注目し、銘柄選定を行っていきます。

I 炭素繊維の用途例



— ゴルフクラブ —

炭素繊維でできたシャフトは、金属製のものに比べて軽量であるため、スイングスピードが速くなり飛距離アップにつながる。



— 自動車 —

炭素繊維を部品に使用することで軽量化・低燃費化。また、衝撃吸収性の向上によりドライバーの安全化へつながる。



— 航空機 —

機体の部材等として使用することで軽量化・低燃費化。中には炭素繊維が重量の約半分を占める機種も生産されている。

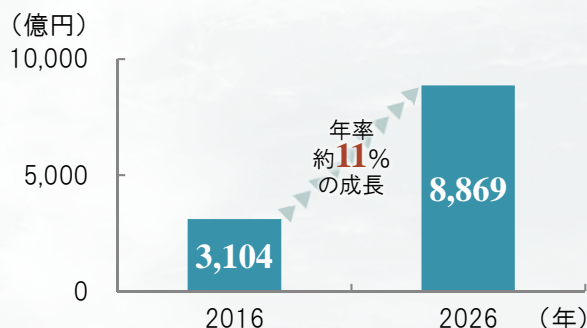


— 人工衛星 —

軽量化により、打ち上げ費用の抑制に。また、厳しい宇宙環境に対して、強度や耐熱性の向上に貢献。

(出所) 東レHPを基に三菱UFJ国際投信作成

I 炭素繊維の世界市場規模(予測値)



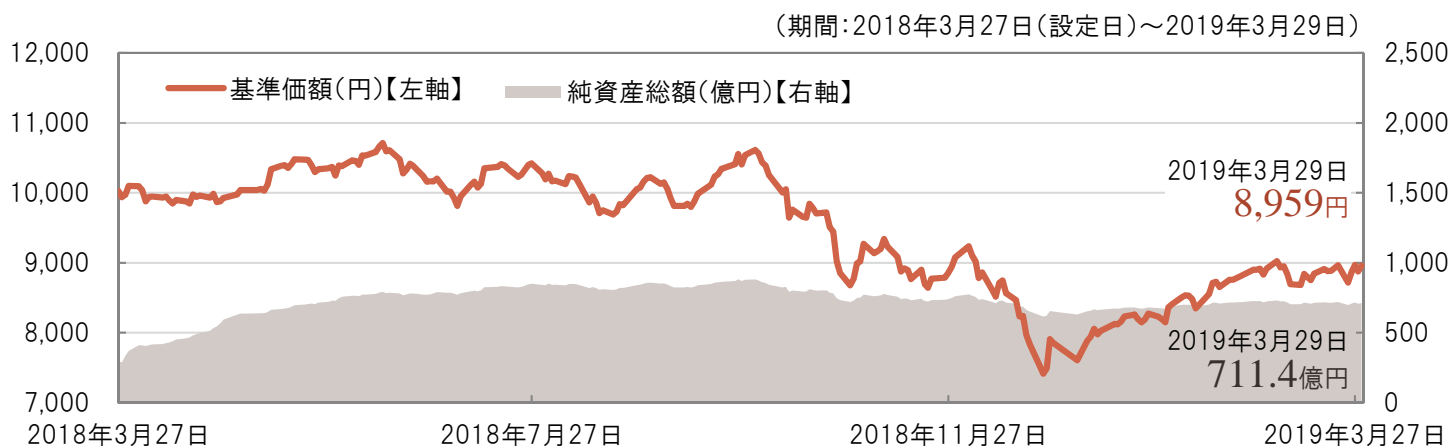
・1米ドル=110.86円(2019年3月末)で円換算しています。

(出所) MarketsandMarkets社「炭素繊維の世界市場」を基に三菱UFJ国際投信作成

■現在の投資テーマとしては、情報通信、環境、ヘルスケア、新素材に注目しておりますが、将来変更する場合があります。■上記は炭素繊維の概要を説明したものであり、すべてを網羅するものではありません。■上記説明には、2019年3月29日時点における当ファンドの組入銘柄が含まれていますが、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。■人物以外の写真はイメージです。■上記は、将来の運用成果等を保証するものではありません。

未来イノベーション成長株ファンド

設定来の基準価額等の推移



- ・ 基準価額(1万口当たり)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
- ・ 信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。また、当ファンドは、基準日時点での分配金の支払い実績はありません。

設定日から足下までの投資環境と運用状況

【投資環境】

2018年4月の米国金利上昇局面において景気敏感株が選好される展開となりましたが、5月に米国金利が下落したことや、国内企業の好業績等を背景に成長株(グロース)が選好される展開となりました。6月に入り、米中間の貿易摩擦問題が悪化し、国内株式市場は下落傾向となりました。

7月から9月上旬にかけて、米中間の貿易摩擦問題に一喜一憂する展開となり、国内株式市場は一定の範囲内で上昇と下落を繰り返しました。9月中旬以降は、米中間の貿易摩擦問題に対する懸念がやや後退し、外国為替市場においても米ドル高円安傾向となったこと等が好感され、国内株式市場は大型株優位の展開で上昇しました。

日経平均株価は、10月初旬にバブル崩壊後の高値を付けましたが、その後、米国の長期金利上昇に伴う世界的なリスクオフの展開を受けて、国内株式市場は下落基調となりました。加えて、貿易摩擦問題に伴う中国景気の減速懸念や、国内企業の業績悪化懸念等の台頭、12月に入ると米中関係の悪化、米国政策金利の追加利上げ、米政局の混乱等を背景にリスクオフの展開となり、国内株式市場は大幅に下落しました。

2019年1月には、米国金融政策の市場動向に応じた柔軟な対応が示された点や、米中貿易摩擦問題の進展期待等を背景に、国内株式市場は景気敏感株や外需銘柄等を中心に上昇しました。2月に入ると、米中貿易協定に左右される局面があったものの、2018年10-12月期の決算内容や株主還元等を材料に個別物色の展開となり、好業績のグロース株が物色される展開となりました。その後は、世界経済の先行き懸念が高まり軟調な展開となりました。

【運用状況】

設定日から2019年3月末までの基準価額は、10.4%の下落となりました。基準価額にプラス寄与した主な銘柄は、「朝日インテック」や「D.A.コンソーシアムホールディングス」等です。一方で、「任天堂」や「三井金属鉱業」等が基準価額にマイナスの影響を与えました。

当ファンドにおける、当初ポートフォリオ構築完了後から2019年3月29日までの主な投資行動は、「東レ」等を入れた一方で、「エヌ・ティ・ティ・データ」等を全売却しました。東レは、航空機の軽量化需要が増す中、炭素繊維複合材料の供給先企業における在庫調整が完了し、出荷が回復していくことが期待されます。また、樹脂事業においてはリチウムイオン電池向けのセパレータフィルム*の需要拡大を期待しています。一方、「エヌ・ティ・ティ・データ」は、米国での新規受注の獲得状況が市場期待よりも軟調であることや、大きな不採算案件の発生等、業績成長確度の低下を背景に全売却しました。

* リチウムイオン電池の正極(+)と負極(-)を絶縁するための材料

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

未来イノベーション成長株ファンド

基準価額にプラス寄与／マイナスの影響を与えた銘柄のご紹介(2019年1月)

2019年1月における当ファンドの月間騰落率は、6.4%の上昇となりました。

基準価額にプラス寄与した銘柄である「アンリツ」、および基準価額にマイナスの影響を与えた銘柄である「資生堂」についてコメントいたします。

上昇銘柄: アンリツ

銘柄コード : 6754
業種 : 情報技術
テーマ : 情報通信
2019年1月の騰落率 : 26.3%

- 第5世代移動通信システム(5G)向け計測機器の売上拡大等を背景に、2018年10-12月期決算の営業利益が高い伸びを示したこと等から、株価は上昇しました。
- 今後も、自動運転などの実現に向けた基盤になると期待される5Gの商用化が世界各地で予定されており、各種機器メーカー等からのテスト需要が加速すると期待しています。

下落銘柄: 資生堂

銘柄コード : 4911
業種 : 生活必需品
テーマ : ヘルスケア
2019年1月の騰落率 : -6.1%

- 中国政府が2019年1月に施行した「電子商取引(EC)法」とよばれる規制に伴い、訪日外国人による化粧品需要が減速し、同社の業績にマイナスの影響を与えるのではないかと懸念から、株価は下落しました。
- 中国を中心とした新興国でのプレミアム化粧品市場の成長と、同市場における同社の占有率向上等による業績成長に期待しています。

基準価額にプラス寄与／マイナスの影響を与えた銘柄のご紹介(2019年2月)

2019年2月における当ファンドの月間騰落率は、5.6%の上昇となりました。

基準価額にプラス寄与した銘柄である「朝日インテック」、および基準価額にマイナスの影響を与えた銘柄である「任天堂」についてコメントいたします。

上昇銘柄: 朝日インテック

銘柄コード : 7747
業種 : ヘルスケア
テーマ : ヘルスケア
2019年2月の騰落率 : 13.3%

- 2月に発表された2018年10-12月期決算で堅調な営業利益が確認されたことや、米国直販化による成長期待が再び高まったこと等から、株価は上昇しました。
- 2023年までの中期経営計画では、約5年間での新たな市場の創出、企業の合併・買収(M&A)の積極化、研究開発の拡大等を発表する等、投資の積極化に言及しており、今後のさらなる成長に期待しています。

下落銘柄: 任天堂

銘柄コード : 7974
業種 : コミュニケーション・サービス
テーマ : 情報通信
2019年2月の騰落率 : -10.0%

- 1月末に発表された2018年10-12月期決算で、営業利益は順調であったものの、「Nintendo Switch」の販売台数が振るわなかったことや、2019年の新作として発表されたソフト一覧がややインパクトに欠けるとの見方が広がったこと等から、株価は下落しました。
- 同社の強力なブランド力は変わらず、今後も有料オンラインサービス等の収益源の多様化に期待しています。

■業種は、GICS(世界産業分類基準)によるものです。■上記は当ファンドの理解を深めていただくため、当ファンドの基準価額にプラス寄与／マイナスの影響を与えた銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。■コメントは作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

未来イノベーション成長株ファンド

基準価額にプラス寄与／マイナスの影響を与えた銘柄のご紹介(2019年3月)

2019年3月における当ファンドの月間騰落率は、1.4%の上昇となりました。

基準価額にプラス寄与した銘柄である「第一三共」、および基準価額にマイナスの影響を与えた銘柄である「スズキ」についてコメントいたします。

上昇銘柄：第一三共

銘柄コード : 4568
業種 : ヘルスケア
テーマ : ヘルスケア
2019年3月の騰落率 : 22.4%

- 同社が開発中の抗がん剤「DS-8201」における全世界での開発・販売に関して、製薬会社の世界大手である英アストラゼネカ社と戦略的に提携したと発表したことが好感され、株価は上昇しました。
- がん領域で豊富な実績と強力な事業基盤を有するアストラゼネカ社との提携により、同社の抗がん剤市場における成長余地は高まると期待しています。

下落銘柄：スズキ

銘柄コード : 7269
業種 : 一般消費財・サービス
テーマ : 環境
2019年3月の騰落率 : -14.1%

- インドにおける2月の自動車販売台数が市場の期待より少なかったことを受け、今後のインド市場での需要回復時期の遅れによる業績低迷が懸念されたこと等から、株価は下落しました。
- 同市場の中長期的な成長期待は変わらないことに加え、同社での同市場における強力な競争力や高い占有率、トヨタとの資本・事業提携の進展等に期待しています。

■業種は、GICS(世界産業分類基準)によるものです。■上記は当ファンドの理解を深めていただくため、当ファンドの基準価額にプラス寄与／マイナスの影響を与えた銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。■コメントは作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

未来イノベーション成長株ファンド

ファンドの目的 日本を含む世界の株式を主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり利益の獲得をめざします。

ファンドの特色

1

次の時代を創るイノベーション※を捉えることをめざします。

- 次の時代を創るイノベーションを見極め、魅力ある投資テーマを選定します。
 - 投資テーマに基づき、日本を含む世界の未来を牽引する企業へ積極的に投資することで、将来の高い成長を享受し、中長期的な値上がり利益の獲得をめざします。
- ※ 当ファンドにおいては、技術の革新にとどまらず、これまでとは違った新たな考え方、仕組み等を取り入れて、新たな価値を生み出すことをいいます。

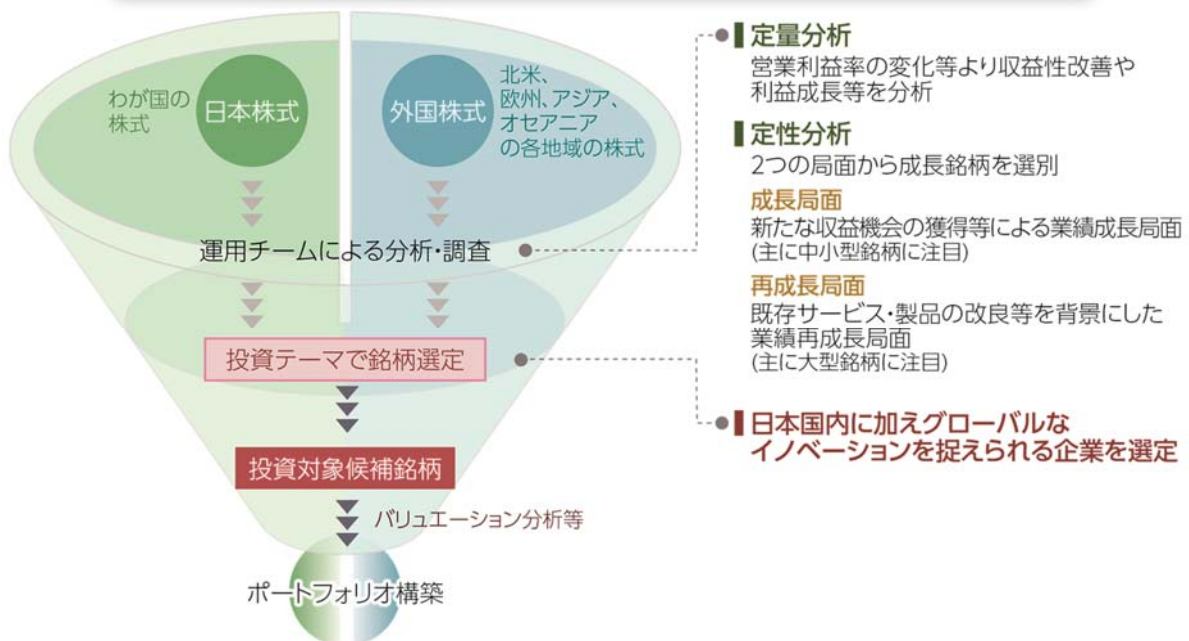
2

日本株を中心に世界の株式に投資を行います。

- ボトムアップ・アプローチによりテーマや産業の分散を意識しながら競争力のある企業を選定します。日本の企業を中心に、日本国内に加えグローバルなイノベーションを捉えられる企業に投資を行います。
- 組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

「ボトムアップ・アプローチ」とは、投資対象となる個別企業の調査、分析に裏付けられた投資判断をもとに銘柄選定を行い、その積み上げによりポートフォリオを構築していく方法です。

運用プロセス



・ 上記は銘柄選定の視点を示したものであり、すべてを網羅するものではありません。また、実際にファンドで投資する銘柄の将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。上記は、2018年12月末現在のプロセスであり、今後変更されることがあります。

3

年1回の決算時(6月20日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。

- 分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

未来イノベーション成長株ファンド

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動リスク

株式の価格は、株式市場全体の動向のほか、発行企業の業績や業績に対する市場の見通しなどの影響を受けて変動します。組入株式の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

為替変動リスク

組入外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。為替ヘッジを行う場合で円金利がヘッジ対象通貨建の金利より低いときには、これらの金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。

上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

■その他の留意点

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

■リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。また、定期的に関催されるリスク管理に関する会議体等において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。

【GICS(世界産業分類基準)について】

Global Industry Classification Standard (“GICS”)は、MSCI Inc. とS&P(Standard & Poor’s)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc. およびS&Pに帰属します。

【本資料に関するご注意事項】

- 本資料は三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

未来イノベーション成長株ファンド

ご購入の際は、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

お申込みメモ

購入時	購入単位 販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
	購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※ 基準価額は1万口当たりで表示されます。
換金時	換金単位 販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
	換金価額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額
	換金代金 原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込について	申込締切時間 原則として、午後3時まで販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
	換金制限 ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
	購入・換金申込受付の中止および取消し 金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。 また、信託金の限度額に達しない場合でも、ファンドの運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、購入のお申込みの受付を中止することがあります。
	信託期間 2028年6月20日まで(2018年3月27日設定)
その他	繰上償還 ファンドの受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
	決算日 毎年6月20日(休業日の場合は翌営業日)
	収益分配 年1回の決算時に分配金額を決定します。(分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。) 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。

その他	課税関係 課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人投資者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更とすることがあります。
-----	--

ファンドの費用

◎お客さまが直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	購入価額に対して、 上限3.24%(税抜3.00%) 販売会社が定めます。 くわしくは、販売会社にご確認ください。
換金時	信託財産留保額	ありません。

◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	運用管理費用(信託報酬)	日々の純資産総額に対して、 年率1.6632%(税抜 年率1.5400%) をかけた額
	その他の費用・手数料	以下の費用・手数料についてもファンドが負担します。 ・ 監査法人に支払われるファンドの監査費用 ・ 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料 ・ 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ・ その他信託事務の処理にかかる諸費用等 ※ 上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

- ※ 運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。
- ※ 上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

委託会社(ファンドの運用の指図等)	三菱UFJ国際投信株式会社
受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)	三菱UFJ信託銀行株式会社
販売会社(購入・換金の取扱い等)	以下の通り

設定・運用	三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第404号
加入協会	一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

【販売会社情報一覧】

商号	登録番号等	加入協会
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／ 一般社団法人金融先物取引業協会／ 一般社団法人第二種金融商品取引業協会